



一年を振り返って ロータリーの方向性の舵が切られた

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー

松本進也

(大阪北RC)



2017年6月30日をもちまして、ガバナーの任を終えました。大過なく務めることができましたのもPGの皆様のご指導とガバナー補佐の皆様、浜田代表幹事を筆頭に地区幹事の皆様、そして各クラブ会長、そして全会員の皆様のご支援・ご協力の賜物です。この場をお借りして心より御礼を申し上げます。

思い返せば、福家ガバナー年度の11月、当地区では初めての「ガバナーノミニー・デジグネート」を拝命いたしました。大阪北に入会し、今年の10月で30年となります。当方はこの30年間、大阪北に育てられて参りました。「ロータリーは奉仕団体ではなく、奉仕する人を育てる団体である」との言葉の通り、育てて頂いたご恩返しとして、また、先輩諸氏の薦めもありまして、僭越ながらお受けさせて頂いた次第です。

ガバナー拝命初日、2016年7月1日の第1回ガバナー会にて、斎藤直美RI理事が次のようにおっしゃられました。ご紹介させていただきます。

「皆さま方がガバナーになったのがこの年というのは、ある意味非常にラッキーだと私は思っております。と申しますのは、ご存知のように、4月の規定審議会で大きくロータリーの方向性の舵が切られたと思うからです。おそらく10年20年経って、あの時自分がガバナーをやったんだ。あの時ロータリーはこんな風変わったんだと自慢話ができる、そういう年になると感じています。ロータリーという組織をどのように守ろうかという維持・発展の大きな変革という意味でとらえています。」

とのことでした。まさしく、激動の1年でありました。

RIでは、2016年規定審議会で採択されたクラブに柔軟性を持たせる件、そして当地区では地区戦略計画委員会からの発案により、IMを現状の8組から6組に再編成するIM再編成案を当方年度に採択予定でありました。この2件につき、丁寧な説明が必要であると感じ、クラブの事情が許す限り、1クラブずつの公式訪問としました。結果として81クラブ、74日間の日程となりました。

公式訪問の際、例会前の1時間で懇談会を行います。その中で、会長・幹事・理事との意見交換は有意義であったと述懐します。そして、去る2016年12月のロータリー研究会にて斎藤RI理事より、「各々の判断については各クラブの裁量とします」と伝達を受け、クラブ会長宛にその旨、文書にて通達を出し、事態は収束に向かいました。

昨年末に冊子化された2016年手続要覧が各クラブに到着しましたが、実際の標準RC定款そのものは既に2016年7月から有効であります。よって、例外規定が設けられている部分につきましては、2017年6月までに殆どのクラブにて細則を改定し7月から新しい細則でスタート予定と報告を受けております。

当地区におきましては、立野ガバナー年度の地区戦略計画委員会にて立案された、IM再編成案とガバナー補佐選出方法の変更が本年度9月24日の地区決算決議会にて採択されました。これは、現状のIM8組から6組に再編成し、更なる会員相互の交流の場を広げることを目的とするものであります。片山ガバナー年度を経て、2018-2019年度より実施予定であり、まさに四代ガバナーに亘る地区変革の一大事業の一端を担えたことを有難く思うばかりです。

また、当方年度で4つの新しい組織が誕生しました。第1に、日本で最初である地区ロータリー学友会が3月27日にRI加盟認証を受け、伝達式を執り行いました。第2に82番目のクラブである大阪水都RCが創立しました。第3に、中之島RCが創立25周年記念事業の一環として提唱された、当地区9番目の開明中学校・高等学校IACが誕生しました。最後に、ガバナー年度最終日曜の6/25に小学生の児童を対象とした(仮称)ロタキッズプログラムを開始し、30名の子供達と盲導犬街頭募金を行いました。子供達の懸命な呼びかけは多くの通りすがりの人の足を止めていました。募金して下さった方々に心を込めてお礼を言う姿が非常に印象的でありました。

このように慌ただしい一年を過ごして参った中で、悲しい出来事がありました。



2017年1月6日に、当クラブの菅生浩三RI理事・PGがご逝去されました。GND拝命時、ご著書の「ロータリー随想」全4巻をご恵贈賜りました。ロータリーの目的第3項にある“The Ideal of service”-ロータリーの根本精神-につき、強く訴えておられ、当方も非常に共感いたしました。よって、ガバナー方針とし、この精神を地区運営の要とした次第です。故・菅生PGには公式訪問や地区大会の原稿など、折に触れお目通し頂きました。師として仰ぎ、常に尊敬の念を抱いておりました。まだまだ教わることが幾多あった中、ガバナー年度半ばにて彼岸に旅立たれたことが無念でなりません。また、御令室の和子様も約半年後の本年6月に後を追われるようにご逝去されました。遥か天界から、我々をお導き下さることを念願し、哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

イアン・ライズリー RI会長は会長テーマを「ロータリー：変化をもたらす」と策定されました。それは未来に向けた戦略の構築、それはロータリーの使命に眼を向け、独自性を守る価値観を忘れず、次なる世代へ向けてのビジョンの策定が急務であることを意味します。

我々は2.5ゾーンを3ゾーンに取り戻すべく、片山ガバナースローガンである「個性を生かし、参加しよう」に基づき、より活発なロータリー活動に邁進し、この舵を切られた節目の時代を航海してゆかねばなりません。

永きに亘り、あたたかいご支援、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。